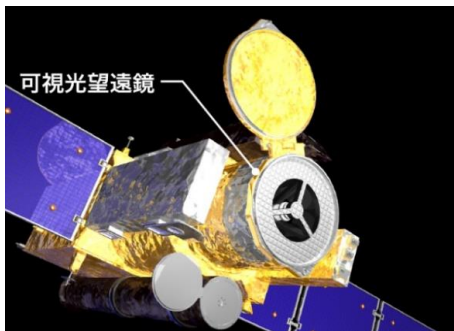
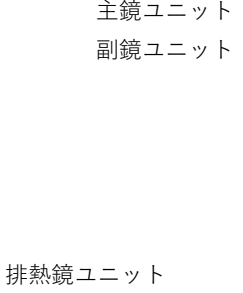


太陽観測を行う国産初の本格的宇宙望遠鏡

登録番号	第 00394 号		
登録年月日	2025（令和7）年9月18日	登録区分	第二種 （単一又は極めて少量生産されたもの）
名称 （型式等）	ひので衛星(SOLAR-B)搭載 0.5 m可視光太陽望遠鏡 （展示品：主鏡ユニット、副鏡ユニット、排熱鏡ユニット）		
所在地	東京都三鷹市 大学共同利用機関法人自然科学研究機構 国立天文台		
所有者 （管理者）	大学共同利用機関法人自然科学研究機構 国立天文台		
製作者(社)	大学共同利用機関法人自然科学研究機構 国立天文台、 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所、三菱電機株式会社		
製作年	2006年（製造2001年～2005年）		
初出年	2006年		
選定理由	本資料は高度680 kmの軌道上で太陽観測を行うひので衛星（SOLAR-B）搭載0.5 m可視光望遠鏡であり、国産初の本格的な可視光宇宙望遠鏡としてすばる望遠鏡に採用された17の主要技術のうち9点を適用して開発された。無重力状態を模擬した世界初の光学性能評価方法は後の衛星搭載光学機器に継承されている。小型ながら0.2秒角の分解能を達成し、太陽の磁場構造や太陽フレアの観測などで成果を上げている点で重要である。なお国立天文台所在の展示品はエンジニアリングモデルであり衛星軌道上にあるものと同等に製作されている。		
登録基準	一ーイ（科学技術の発展の重要な側面及び段階を示すもの） 一ーロ（国際的に見て日本の科学技術発展の独自性を示すもの）		
公開・非公開	公開		
写真	 可視光望遠鏡  主鏡ユニット  副鏡ユニット  排熱鏡ユニット ひので衛星(SOLAR-B) ©国立天文台		